

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-238245

(43)Date of publication of application : 31.08.2001

(51)Int.Cl.

H04Q 7/34

H04L 12/28

(21)Application number : 2000-043015

(22)Date of filing : 21.02.2000

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

(72)Inventor : KIDOKORO MASAHIRO

NAGAI MOTOTAKA

MISE TOSHIRO

FUJIWARA NORIAKI

NAGATA AKIRA

OOKAGE SATOSHI

NAKAO YUTAKA

UENO YOSHIKI

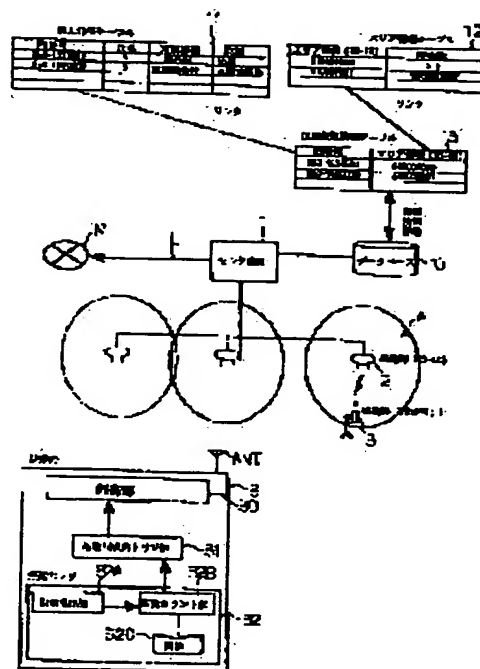
OISHI TOMOKO

(54) MOBILE STATION MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mobile station management system that can group a detailed location of a person possessing a mobile station.

SOLUTION: A center unit 1 is provided with a personal information table 11 that registers personal information, an area management table 12 that registers information of an area A, and a position register information table 13 linked with the tables 11, 12. A mobile station 1 makes a request to a nearby base station 2 to register position information at the operation start of the mobile station 1 or when the mobile station 1 moves to other area A, and the base station 2 receiving the request registers the position information of the mobile station 1 including base station information to the position registration information table 13 of the center unit 1, and the center unit 1 manages the information of the person possessing the mobile station 1 and its position by referencing the position information of the position register information table 13 through the link with the personal information of the personal information table 11 and the area information of the area management table 12.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

Best Available Copy

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

11

13)、近づいていると判断すれば(E14)、警報要求を基地局2を介して移動局3に送出し、これを受けた移動局3は、所定の警報を発報する(E15)。

【0038】このように、センサ装置1は、位置登録情報テーブル15の位置登録情報と、立ち入り禁止エリア17の立ち入り禁止区域情報とに基づいて、移動局3が、立ち入り禁止区域情報で規定された立ち入り禁止区域に近づいているか否かを判断し、近づいていると判断すれば、警報要求を移動局3に送出し、立ち入り禁止区域に侵入した人に対して、早急に立ち入り禁止区域からの立ち退きを要求することができる。

【0039】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第6例を図11に示す。このものは、移動局3が低下すれば、その旨を通報する移動局4を通報システムを示しており、警報時の所有者移動局4を更に増え、センサ装置1は、個人情報テーブル11、エリア管理テーブル12、位置登録情報テーブル13(いずれも前述)の他に、個人とその担当警報局とを対応付けて登録した担当警報局テーブル18と、警報局とその所有者移動局番号とを対応付けて登録した警報局所有者移動局テーブル19とを更に増えている。また、移動局3は、前述した警報局30の他に、警下検出手段を構成し、移動局3の落下を検出するシミュレーション34を更に増えており、シミュレーション34は、警下検出手続34Aが所定の閾値34B以上の値を検出したときに、その旨を警報局30に通知するようにになっている。

【0040】このシステムの動作を、図12とともに説明する。なお、図中、F1～F11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにする。このシステムでは、シミュレーション34が、所定の閾値34B以上の値を検出すると(F12)、移動局3は、その旨を基地局2を介してセンサ装置1に通知し(F13)、更に、これを受けたセンサ装置1は、個人情報テーブル11と、担当警報局テーブル18と、警報局所有者移動局テーブル19とを基にして、低下した移動局3に対応する警報局所有者移動局4に対して、移動局が低下した旨を通知する。

【0041】これにより、移動局3が低下すると、その旨をセンサ装置1に通知し、更にセンサ装置1がこれを受けて、その移動局3に対応する警報局所有者移動局4にその旨を通知するので、警報局はこれを受けて早急に対応することができる。

【0042】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第7例を図13に示す。このものは、個人に注入している点検薬の容量が少なくなれば、その旨を通報する点検終了通報システムを示しており、警報時の所有者移動局4を更に増え、センサ装置1は、個人情報テーブル11、エリア管理テーブル12、位置登録情報テーブル13(いずれも前述)の他に、個人とその担当警報

(7)

特開2001-238245

13

(8)

局とを対応付けて登録した担当警報局テーブル18と、警報局とその所有者移動局番号とを対応付けて登録した警報局所有者移動局テーブル19とを更に増えている。また、移動局3は、前述した警報局30の他に、水位検出手段を構成し、点検薬の水位を検出する水位レベルセンサ35を更に増えており、水位レベルセンサ35は、水位レベル検出手続35Aが所定の閾値35B以下の水位を検出したときに、その旨を警報局30に通知するようにになっている。

【0043】このシステムの動作を、図14とともに説明する。なお、図中、G1～G11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにする。このシステムでは、水位レベルセンサ35が、所定の閾値35B以下の水位を検出すると(G12、G13)、移動局3は、その旨を基地局2を介してセンサ装置1に通知し(G14)、更に、これを受けたセンサ装置1は、個人情報テーブル11と、担当警報局テーブル18と、警報局所有者移動局テーブル19とを基にして、低下した移動局3に対応する警報局所有者移動局4に対して、点検が終了または終了間近である旨を通知する。

【0044】これにより、点検が終了すると、その旨をセンサ装置1に通知し、更にセンサ装置1がこれを受けて、その移動局3に対応する警報局所有者移動局4にその旨を通知するので、警報局はこれを受けて早急に対応することができる。

【0045】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第8例を図15に示す。このものは、個人の各種測定値(血圧値、脈拍値など)をセンサ装置1に通知する人体測定値通知システムを示しており、センサ装置1は、個人情報テーブル11、位置登録情報テーブル13(いずれも前述)の他に、個人毎の各種測定値を登録する個人測定値情報テーブル20を増えている。また、移動局3は、前述した警報局30の他に、測定手段を構成し、個人の各種測定値を測定する人体計測器測定部で構成される人体計測センサ36を増えている。

【0046】このシステムの動作を、図16とともに説明する。なお、図中、H1～H11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにする。このシステムでは、人体計測センサ36が、常時個人の各種測定値を測定しており(H12)、移動局3は、この測定値を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1は、受信した測定値を個人測定値情報テーブル20に登録する(H13)。

【0047】これにより、人体計測センサ36が、常時個人の各種測定値を測定し、この測定値を、センサ装置1が個人測定値情報テーブル20に登録するので、従来、警報局が行っていた測定作業が自動的に行われ、警報局の負担が大幅に軽減される。

(7)

特開2001-238245

13

(8)

【0048】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第9例を図17に示す。このものは、個人の血圧値をセンサ装置1に通知する血圧測定値通知システムを示しており、センサ装置1は、個人測定値情報テーブルとして、血圧測定値情報テーブル20を増えている。また、移動局3は、前述した振動センサ32を増え、同時に、人体計測センサとして、血圧計センサ36を増えている。なお、振動センサ32において、振動計測部32Bは、振動検出手続32A、振動カウント部32B(いずれも前述)で構成されており、血圧計センサ36は、個人の血圧値を測定する血圧測定部36A、血圧測定部36Aが血圧値を測定するタイミングを生成する計測タイミング生成部36Bで構成されている。

【0049】このシステムの動作を、図18とともに説明する。なお、図中、I1～I11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにする。このシステムでは、血圧計センサ36は、計測タイミングになれば、血圧計センサ36は、振動計測部32Bの振動状況と問い合わせ(112)、このとき、振動センサ32が、一定時間につき所定の閾値32C以上の振動を検出して(113)、その間は血圧値の測定をせず、所定の閾値32C以上の振動が計測し終われば(113)、血圧値を測定する(114)。移動局3はこれを受けて、この血圧値を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1は、受信した測定値を血圧測定値情報テーブル20に登録する(115)。

【0050】これにより、血圧計センサ36が、常時個人の血圧値を測定し、この血圧値を、センサ装置1が血圧測定値情報テーブル20に登録するので、従来、警報局が行っていた測定作業が自動的に行われ、警報局の負担が大幅に軽減される。また、振動センサ32が、一定時間につき所定の閾値32C以上の振動を検出して(113)、その間は血圧値の測定をしないので、正確な血圧値を収集することができる。

【0051】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第10例を図19に示す。このものは、個人の血圧値をセンサ装置1に通知する血圧測定値通知システムを示しており、センサ装置1は、個人情報テーブル11、位置登録情報テーブル13(いずれも前述)の他に、個人測定値情報テーブル13(いずれも前述)の他に、個人測定値情報テーブル21を増えている。また、移動局3は、個人毎の血圧値を測定する個人血圧測定部36Aを増えている。また、移動局3は、個人毎に食事履歴(食事種類も含む)を規定した食事情報テーブル21を増えている。また、移動局3は、人体計測センサとして、血圧計センサ36Aなどで構成される血圧計センサ36を増えている。

【0052】このシステムの動作を、図20とともに説明する。なお、図中、J1～J11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにする。このシステムでは、血圧計センサ36

(7)

特開2001-238245

13

(8)

6が、常時個人の血圧値を測定しており(J12)、移動局3は、この血圧値を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1は、受信した血圧値を血圧測定値情報テーブル20に登録する(J13)。このとき、センサ装置1は、受信した血圧値と、血圧情報テーブル20に登録済みの過去の血圧値とを比較して、今回受信した血圧値が高いか否かを判断し、高い場合、図示しない表示部に警告メッセージを表示するなどして警告動作を行う(114)。また、センサ装置1は、食事情報テーブル21に基づいて、受信した血圧値に最も適した食事種類や食事量を決定する(J15)。

【0053】これにより、血圧計センサ36が、個人の血圧値を測定し、この血圧値を、センサ装置1が血圧測定値情報テーブル20に登録するので、従来、警報局が行っていた測定作業が自動的に行われ、警報局の負担が大幅に軽減される。また、センサ装置1は、血圧計センサ36による血圧値の異常の有無を判断したり、この血圧値に最も適した食事種類や食事量を決定するので、非常に利便である。

【0054】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第11例を図21に示す。このものは、個人の脈拍値をセンサ装置1に通知する脈拍測定値通知システムを示しており、センサ装置1は、個人測定値情報テーブル20を増えている。また、移動局3は、個人毎の脈拍値を測定するアラーム部37を増えているとともに、人体計測センサとして、脈拍測定部37などで構成される脈拍計センサ36を増えている。

【0055】このシステムの動作を、図22とともに説明する。なお、図中、K1～K11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにする。このシステムでは、脈拍計センサ36は、常時個人の脈拍値を計測しており、移動局3はこれを受けて、この脈拍値を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受信したセンサ装置1は、受信した脈拍値を個人脈拍測定値テーブル20に登録する(K12)。このとき、センサ装置1は、受信した脈拍値と、個人脈拍測定値テーブル20に登録済みの過去の脈拍値とを比較して、今回受信した脈拍値が高いか否かを判断し(K13、K14)、高い場合、脈拍異常としてその旨を移動局3に送出し、これを受けた移動局3は、アラーム部37より所定の警報音を発報する(K15)。

【0056】これにより、脈拍計センサ36が、常時個人の脈拍値を測定し、この脈拍値を、センサ装置1が個人脈拍測定値テーブル20に登録するので、従来、警報局が行っていた測定作業が自動的に行われ、警報局の負担が大幅に軽減される。また、センサ装置1は、脈拍計センサ36による脈拍値の異常の有無を判断し、異常があれば、その旨を個人に向けて警告するので、注意を喚起させることができる。

(7)

特開2001-238245

13

(8)

【0067】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第12例を図23に示す。このものは、個人が付けられているおむつが異常な状態で汚れたときに、その旨を通報するおむつ汚れ通報システムを示しており、エリアAに設置された換気装置5を更に備え、センサ装置1は、前述した位置登録情報テーブル13を備えている。また、移動局3は、前述した制御部30の他に、汚れ検出手段を構成し、個人の付けているおむつの汚れを検出するおむつ汚れ検出部38などから構成されるおむつ汚れセンサ38を備えている。

【0068】このシステムの動作を、図24とともに説明する。なお、図中、L1～L11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにす。このシステムでは、おむつ汚れセンサ38が、おむつの汚れを検出すると(L12)、移動局3は、その旨を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1は、位置登録情報テーブル13の位置情報に基づいて判別し、判別したエリアAに設置される換気装置5に対して換気通知をし(L13)、これを受けた換気装置5が動作する(L14)。

【0069】これにより、おむつ汚れセンサ38が、おむつの汚れを検出すると、移動局3は、その旨を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1は、この移動局3の位置するエリアAを、位置登録情報テーブル13の位置情報に基づいて判別し、判別したエリアAに設置される換気装置5に対して換気通知をし、これを受けた換気装置5が動作するので、異常などにより個人の付けているおむつが汚れても、そのおむつを早急に清拭することができる。

【0070】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第13例を図25に示す。このものは、移動局3を所持する個人が、苦しんでいるときに、その旨を通報するおむつ汚れ通報システムを示しており、移動局3は、前述した位置登録情報テーブル13を備えている。また、移動局3は、制御部30、振動センサ32(いずれも前述)を備えている。

【0071】このシステムの動作を、図26とともに説明する。なお、図中、M1～M11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにす。このシステムでは、振動センサ32が、移動局3の振動を常時計測しており(M12)、所定の閾値32C以上の振動を計測すれば(M13)、移動局3はこれを受けて、その旨を基地局2を介してセンサ装置1に通知し(M14)、これを受けたセンサ装置1が、個人情報テーブル11と、担当看護婦テーブル18と、看護婦所有移動局テーブル19とを基にして、この移動局3に対応する看護婦所有移動局4に対して、個人が苦しんでいる旨を通知する。

【0072】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第14例を図27に示す。このものは、移動局3を所持する個人が、苦しんでいるときに、その旨を通報するおむつ汚れ通報システムを示しており、移動局3は、前述した位置登録情報テーブル13を備えている。また、移動局3は、制御部30、振動センサ32(いずれも前述)を備えている。

の移動局3に対応する看護婦所有移動局4に対して、個人が苦しんでいる旨を通知する。

【0062】これにより、振動センサ32が、一定時間につき所定の閾値32C以上の振動を計測すれば、移動局3はこれを受けて、その旨を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1が、担当看護婦テーブル18と、看護婦所有移動局テーブル19とを基にして、この移動局3に対応する看護婦所有移動局4に対して、個人が苦しんでいる旨を通知するので、看護婦はこれを受けて早急に対処することができる。

【0063】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第14例を図27に示す。このものは、個人の食事摂取量をセンサ装置1に通知する食事摂取量通知システムを示しており、センサ装置1は、個人情報テーブル11、位置登録情報テーブル13(いずれも前述)の他に、個人毎にその摂取した食事摂取量を登録する個人情報取得情報テーブル21を備えている。また、移動局3は、前述した制御部30の他に、食事摂取量測定手段を構成し、個人の摂取した食事量を測定する重量センサ39(ペンドテーブル11に図入付けられる)を備えている。重量センサ39は用途別に39A～39Dのセンサが用意され、センサ39Aはご飯用、センサ39Bはお粥用、センサ39Cはおかず1用、センサ39Dはおかず2用となっている。

【0064】このシステムの動作を、図28とともに説明する。なお、図中、N1～N11に示す動作は、前述したD1～D11に示す動作と同一であるため説明を省略することにす。このシステムでは、重量センサ39は、食前と食後の食料の重量から、個人の食事摂取量を求めるようになつており(N12)、移動局3はこれを受けて、この食事摂取量を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1は、受信した食事摂取量を、個人情報取得情報テーブル21に登録する(N13)。

【0065】これにより、移動局3は、重量センサ39によって測定された食事摂取量を基地局2を介してセンサ装置1に通知し、これを受けたセンサ装置1は、受信した食事摂取量を、個人情報取得情報テーブル21に登録するので、センサ装置1で、個人の食事摂取量を正確に把握することができる。

【0066】【発明の効果】以上の説明からも理解できるように、本発明の請求項1に記載の移動局管理システムでは、移動局が起動したり、別のエリアに移動したときには、センサ装置は、移動局の位置情報、すなわち、移動局番号や、移動局の最寄りのエリア情報などが登録されているので、移動局を所持する個人の居場所を容易かつ詳細に知ることができる。

【0067】請求項2に記載の移動局管理システムでは、振動計測手段が所定回数の振動を計測する際に、その移動局3に対応する看護婦所有移動局4に対して、個人が苦しんでいる旨を通知する。

【0068】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第15例を図29に示す。このものは、移動局3を所持する個人が、苦しんでいるときに、その旨を通報するおむつ汚れ通報システムを示しており、移動局3は、前述した位置登録情報テーブル13を備えている。また、移動局3は、制御部30、振動センサ32(いずれも前述)を備えている。

センサ装置は、移動局の位置情報、すなわち、移動局番号や、移動局の最寄りのエリア情報などが登録されているので、移動局を所持する個人の居場所を容易かつ詳細に知ることができる。

【0068】請求項3に記載の移動局管理システムでは、移動局管理テーブルの位置登録情報に基づいて、移動局の次の移動先となるエリアを予測するので、移動局の現在地から、予測したエリアの方向に向かう際の案内などを可能にする。この案内を通過後検出するなどの動作を行うことができる。

【0069】請求項4に記載の移動局管理システムでは、方位検出手段によって検出される方位情報に基づいて、移動局の次の移動先となるエリアを予測するので、請求項3と同様に、移動局の現在地から、予測したエリアの方向に向かう際の案内などを可能にする。この案内を通過後検出するなどの動作を行うことができる。

【0070】請求項5に記載の移動局管理システムでは、センサ装置は、位置登録情報テーブルの位置登録情報と、位置登録情報テーブルの位置情報とに基づいて、移動局の一定エリアにおける停止時間を算出し、その停止時間が所定時間を超えているか否かを、場所停止制限時間テーブルの制限時間情報に基づいて判断するので、移動局の所持する人が、同一の場所に制限時間以上いるかどうかを容易に判断でき、これにより不要の事態が生じる前に早期に対処することができる。

【0071】請求項6に記載の移動局管理システムでは、センサ装置は、位置登録情報テーブルの位置登録情報と、立ち入り禁止マッピングの立ち入り禁止区域情報とに基づいて、移動局が、立ち入り禁止区域情報で規定された立ち入り禁止区域に近づいているか否かを判断し、近づいていると判断すれば、警報要求を移動局に送出し、これを受けた移動局が、所定の警報を発報するので、立ち入り禁止区域に侵入した人に対して、早急に立ち入り禁止区域からの立ち退きを要求することができる。

【0072】請求項7に記載の移動局管理システムでは、移動局が低下すると、その旨をセンサ装置に通知し、更にセンサ装置がこれを受けて、その移動局に対応する看護婦所有移動局にその旨を通知するので、看護婦はこれを受けて早急に対処することができる。

【0073】請求項8に記載の移動局管理システムでは、個人の点検が終了すると、その旨をセンサ装置に通知し、更にセンサ装置がこれを受けて、その移動局に対応する看護婦所有移動局にその旨を通知するので、看護婦はこれを受けて早急に対処することができる。

【0074】請求項9に記載の移動局管理システムでは、測定手段が、常時個人の各種測定値を測定し、この測定値を、センサ装置が個人情報取得情報テーブルに登録するので、従来、看護婦が行っていた測定作業が自動的に行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。

【0075】次に、本発明の移動局管理システムの要部構成の第16例を図30に示す。このものは、移動局3を所持する個人が、苦しんでいるときに、その旨を通報するおむつ汚れ通報システムを示しており、移動局3は、前述した位置登録情報テーブル13を備えている。また、移動局3は、制御部30、振動センサ32(いずれも前述)を備えている。

【0076】請求項10に記載の移動局管理システムでは、血圧測定装置が、常時個人の血圧値を測定し、この血圧値を、センサ装置が血圧測定情報テーブルに登録するので、従来、看護婦が行っていた測定作業が自動的に行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。

【0077】請求項11に記載の移動局管理システムでは、血糖値測定装置が、常時個人の血糖値を測定し、この血糖値を、センサ装置が血糖値情報テーブルに登録するので、従来、看護婦が行っていた測定作業が自動的に行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。また、センサ装置は、血糖値センサによる血糖値の異常の有無を判別したり、この血糖値にも通じた食事摂取量や投薬量を決定するので、非常に利便である。

【0078】請求項12に記載の移動局管理システムでは、原拍測定装置が、常時個人の原拍値を測定し、この原拍値を、センサ装置が個人情報取得情報テーブルに登録するので、従来、看護婦が行っていた測定作業が自動的に行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。また、センサ装置は、原拍測定装置による原拍値の異常の有無を判別し、異常があれば、その旨を個人に向けて警告するので、注意を喚起させることができる。

【0079】請求項13に記載の移動局管理システムでは、汚れ検出手段が、おむつの汚れを検出すると、移動局は、その旨を基地局を介してセンサ装置に通知し、これを受けたセンサ装置は、この移動局の位置するエリアを、位置登録情報テーブルの位置情報に基づいて判別し、判別したエリアに設置される換気装置を動作させるので、異常などにより個人の付けているおむつが汚れても、そのおむつを早急に清拭することができる。

【0080】請求項14に記載の移動局管理システムでは、振動計測手段が、所定の閾値以上の振動を計測すれば、移動局はこれを受けて、その旨を基地局を介してセンサ装置に通知し、これを受けたセンサ装置は、受信した食事摂取量を、個人情報取得情報テーブルに登録するので、個人の食事摂取量を正確に把握することができる。

【0081】本発明の移動局管理システムの要部構成の第1例を示す図である。

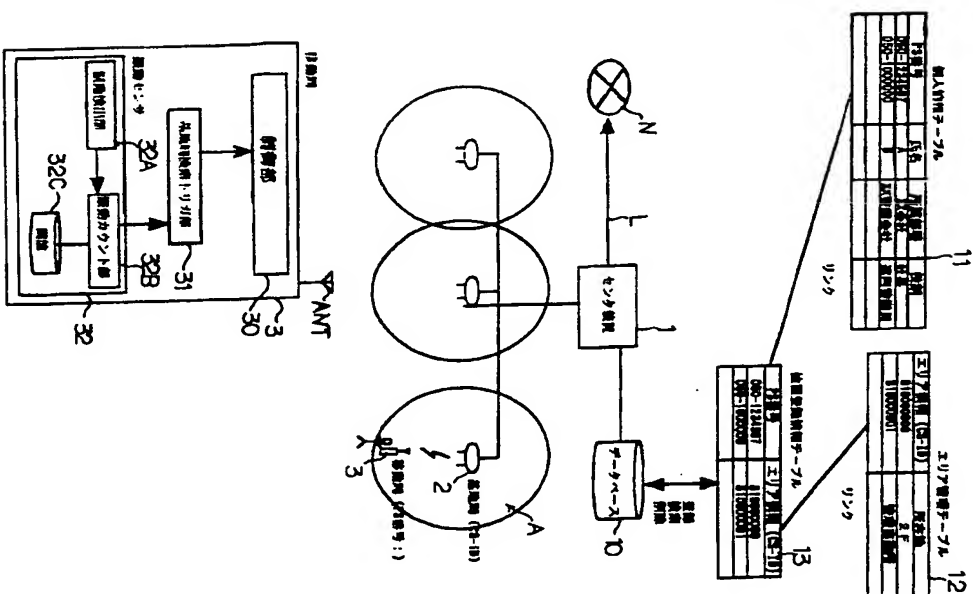
【0082】図1のシステムの動作を説明するための図である。

【0083】本発明の移動局管理システムの要部構成の第2例を示す図である。

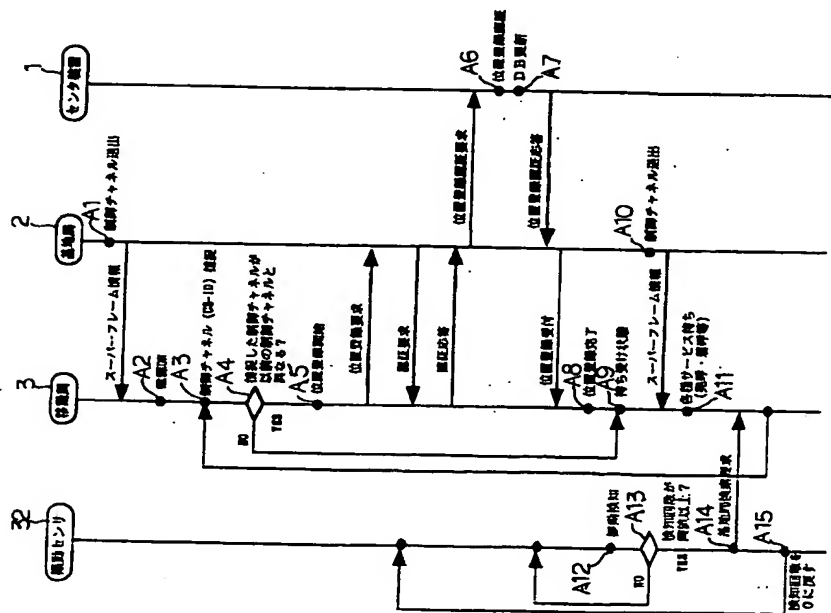
【0084】図3のシステムの動作を説明するための図である。

- る。
- 【図5】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第3例を示す図である。
- 【図6】 図5のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図7】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第4例を示す図である。
- 【図8】 図7のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図9】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第5例を示す図である。
- 【図10】 図9のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図11】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第6例を示す図である。
- 【図12】 図11のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図13】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第7例を示す図である。
- 【図14】 図13のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図15】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第8例を示す図である。
- 【図16】 図15のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図17】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第9例を示す図である。
- 【図18】 図17のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図19】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第10例を示す図である。
- 【図20】 図19のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図21】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第11例を示す図である。
- 【図22】 図21のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図23】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第12例を示す図である。
- 【図24】 図23のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図25】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第13例を示す図である。
- 【図26】 図25のシステムの動作を説明するための図である。
- 【図27】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第14例を示す図である。
- 【図28】 図27のシステムの動作を説明するための図である。
- 【符号の説明】
- 1・・・センタ装置
 - 2・・・基地局
 - 3・・・移動局（個人所有）
 - 4・・・移動局（署管轄所有）
 - 5・・・換気装置
 - 11・・・個人情報テーブル
 - 12・・・エリア管理テーブル
 - 13・・・位置登録情報テーブル
 - 14・・・位置登録履歴管理テーブル
 - 15・・・位置登録履歴管理テーブル
 - 16・・・場所停止検出時間テーブル
 - 17・・・立ち入り禁止ゾーン
 - 18・・・担当警備員テーブル
 - 19・・・署管轄所有移動局テーブル
 - 20・・・個人測定値情報テーブル
 - 21・・・食事情報テーブル
 - 22・・・個人食事所設置情報テーブル
 - 32・・・探知センサ
 - 33・・・ジャイロセンサ
 - 34・・・シヨックセンサ
 - 35・・・水位レベルセンサ
 - 36・・・人体計測センサ
 - 37・・・アラーム部
 - 38・・・おむつ汚れセンサ
 - A・・・エリア

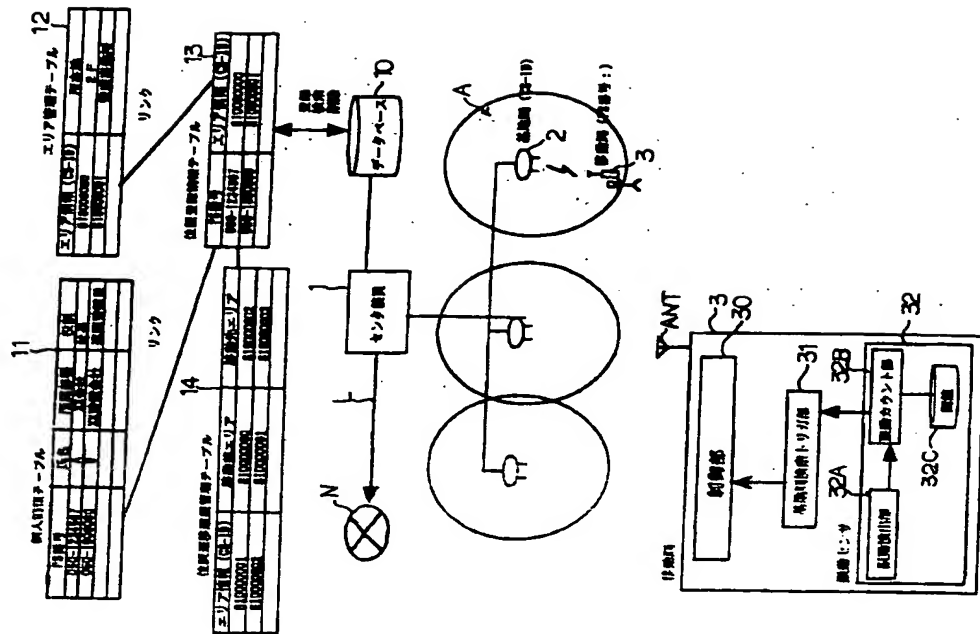
【図1】



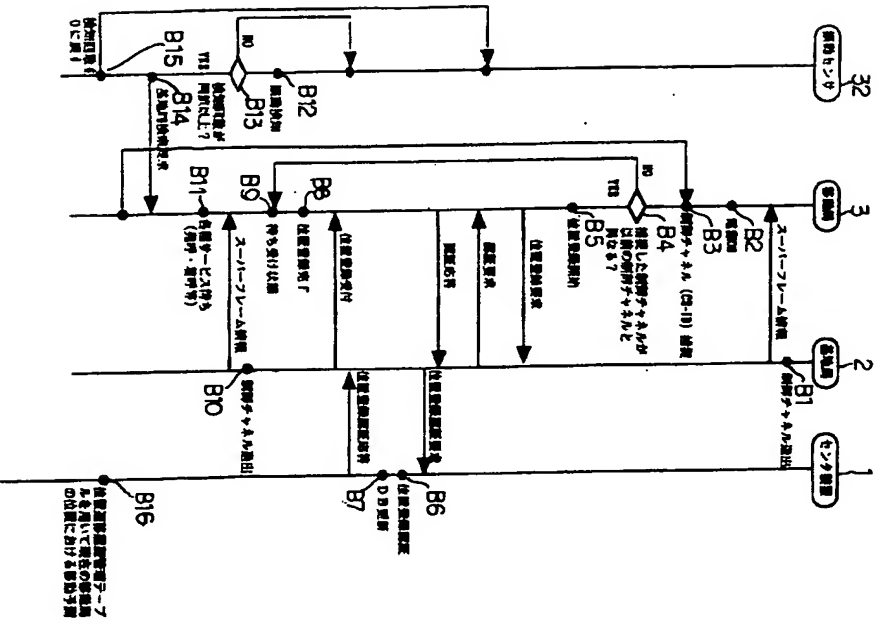
【図2】



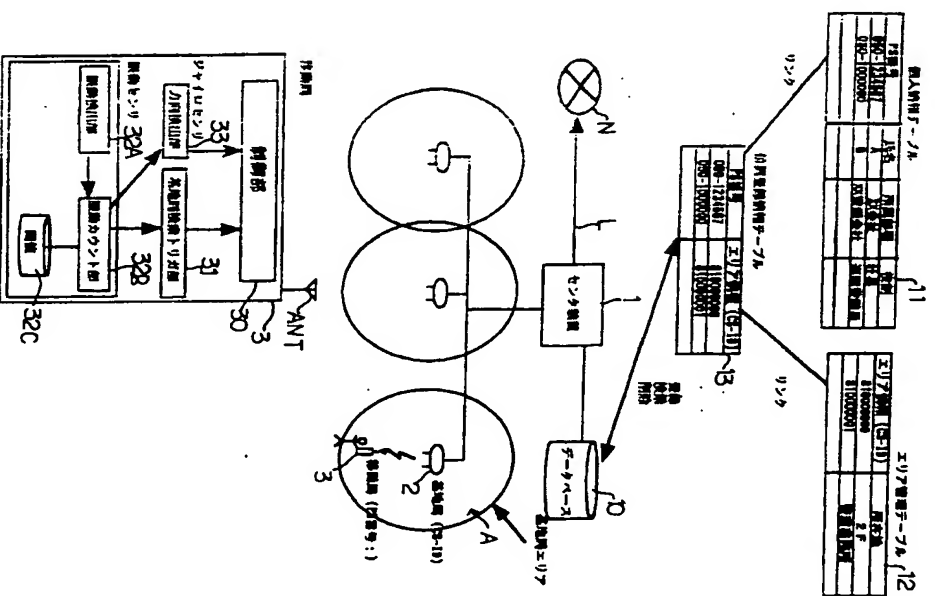
【図3】



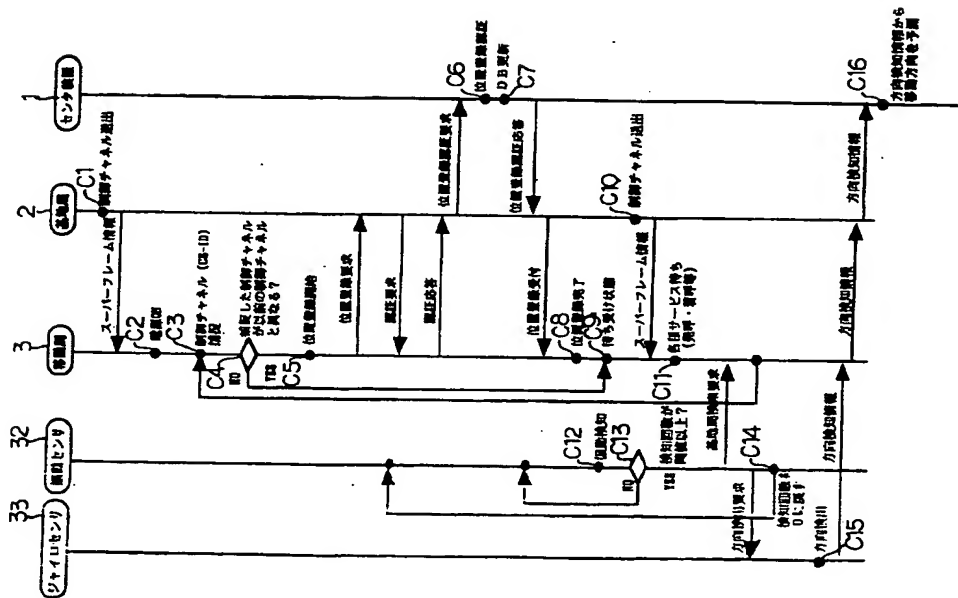
【図4】



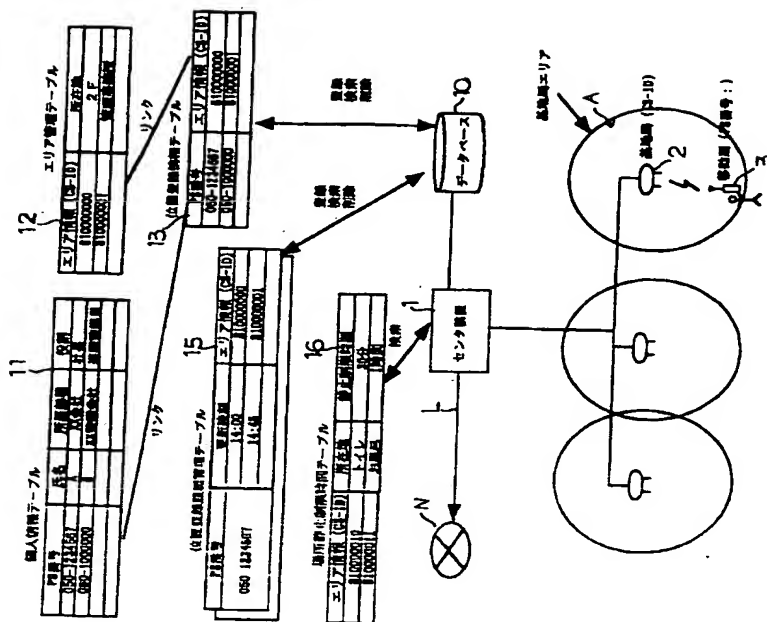
【図5】



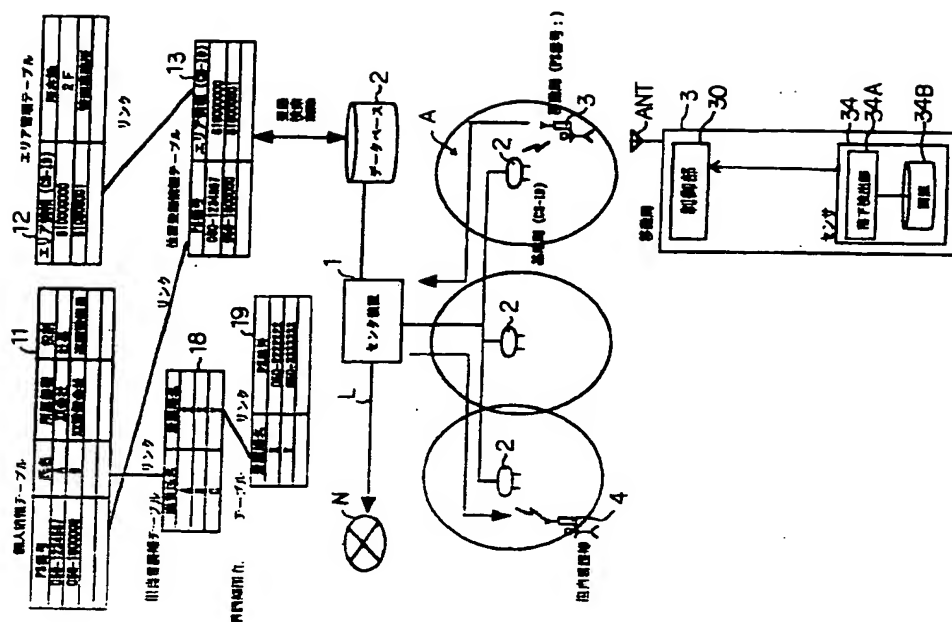
【図6】



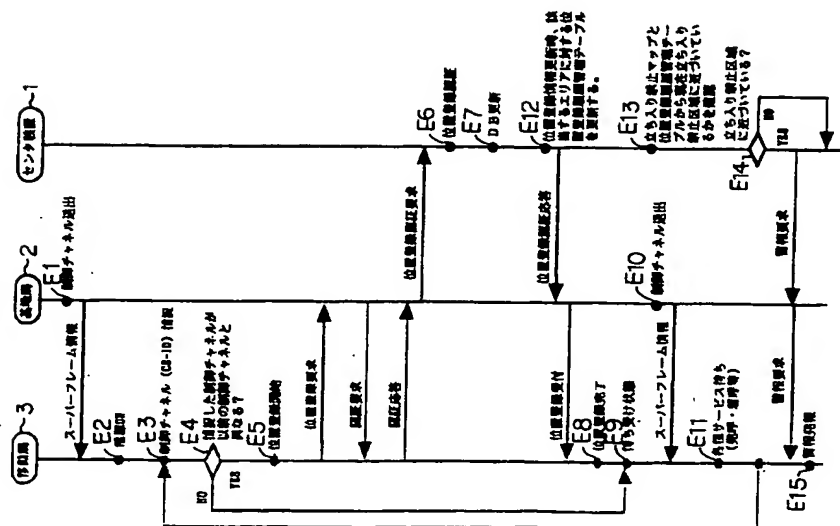
【図7】



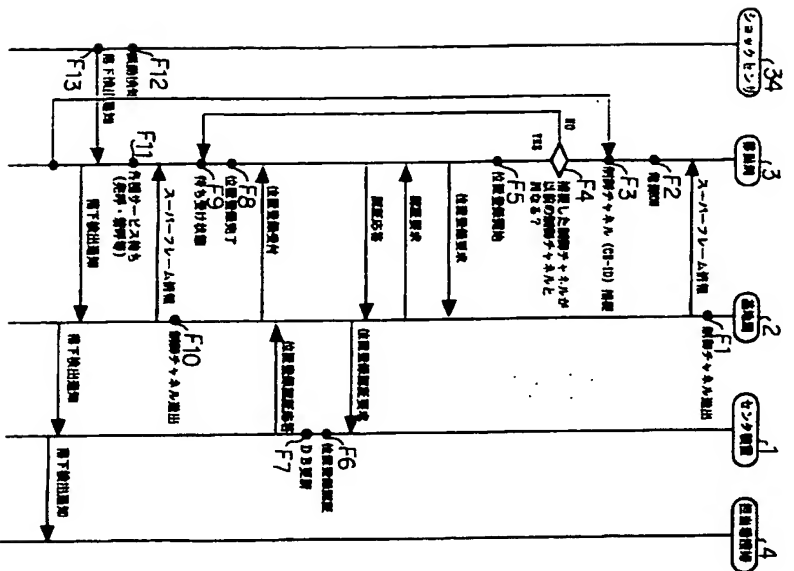
【図11】



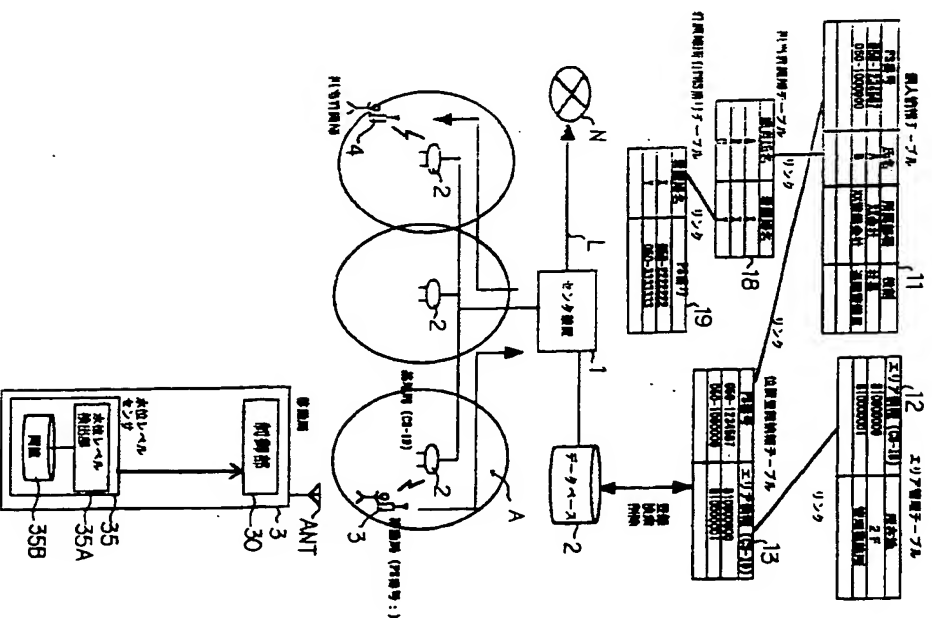
【図10】



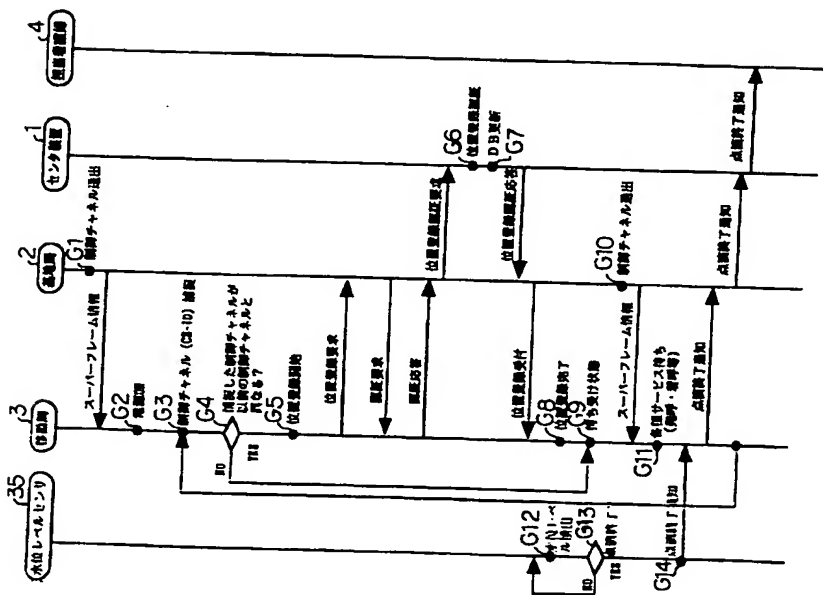
【図12】



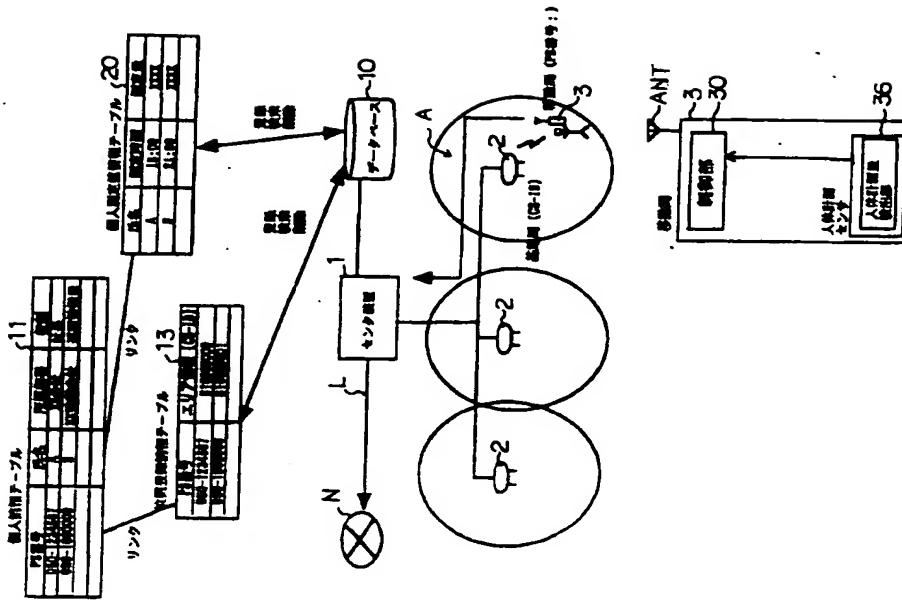
【図13】



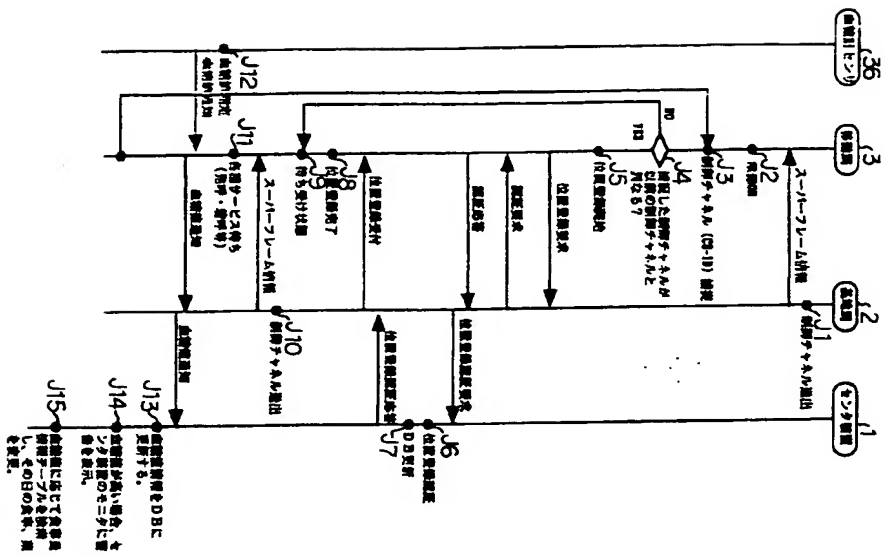
【図14】



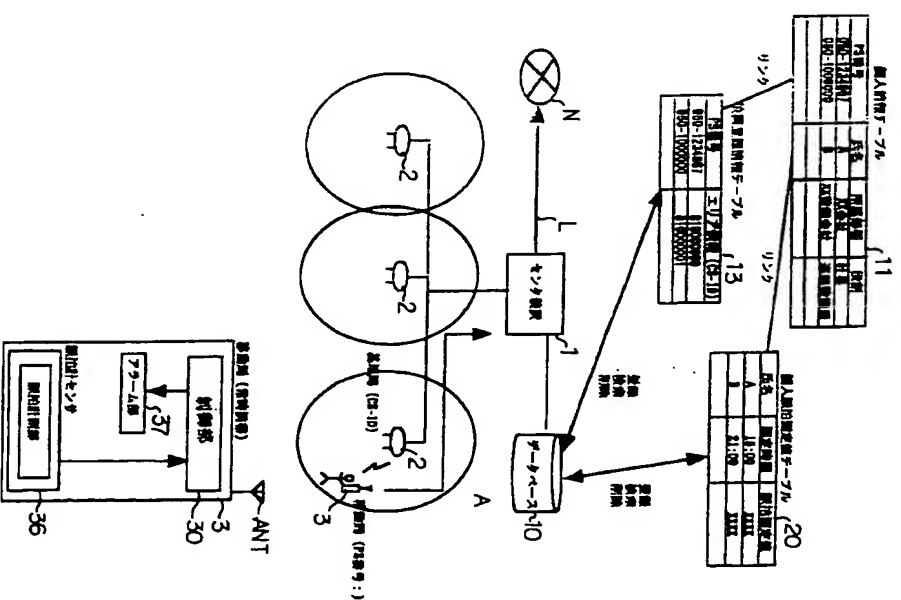
【図15】



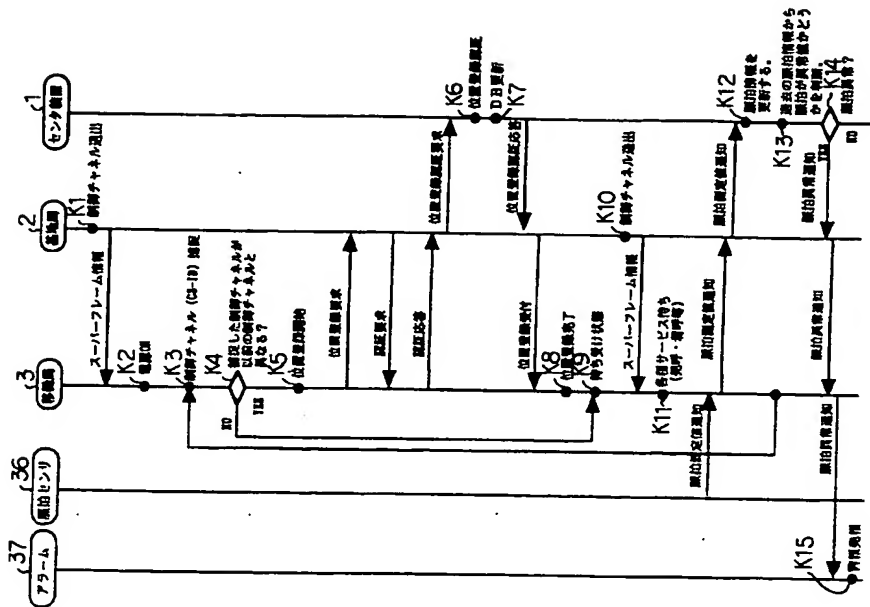
【図20】



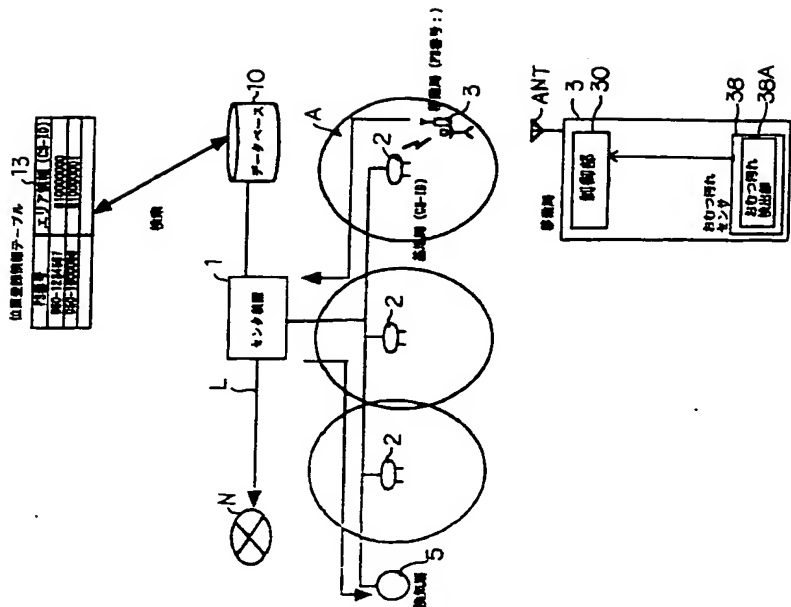
【図21】



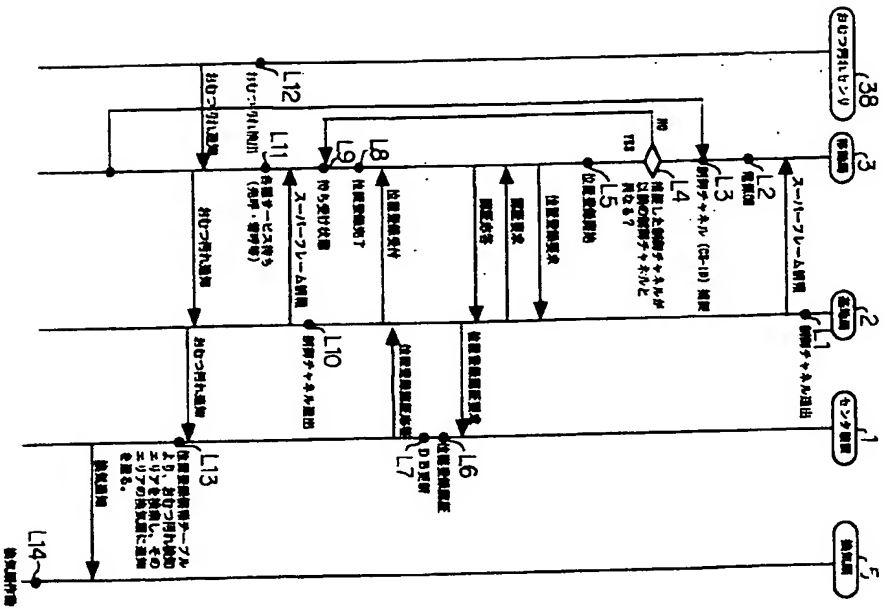
【図22】



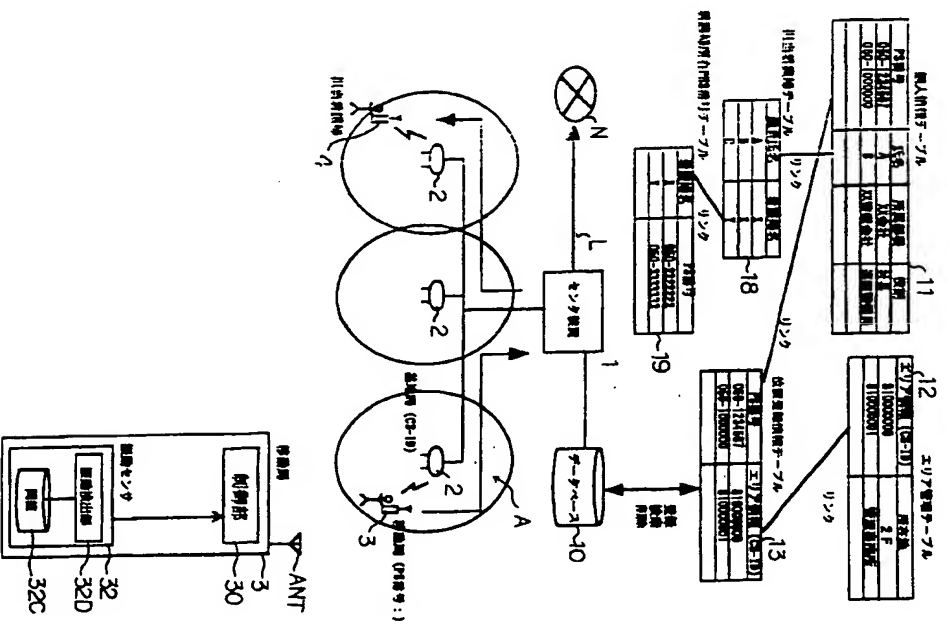
【図23】



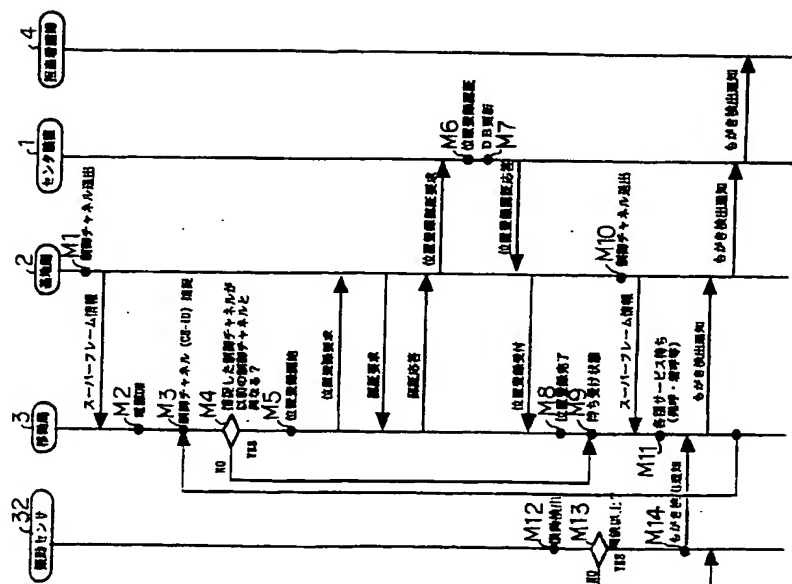
【図24】



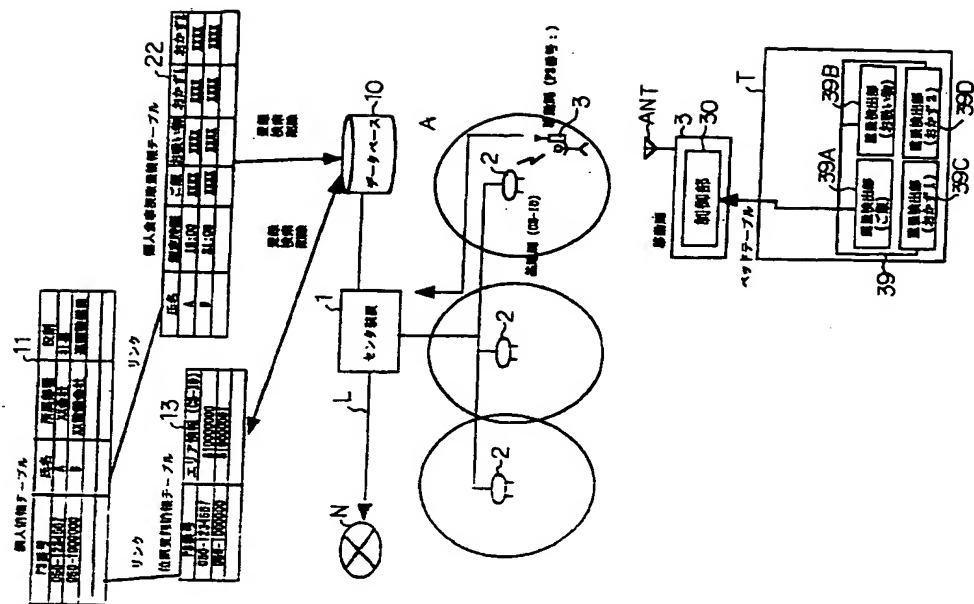
【図25】



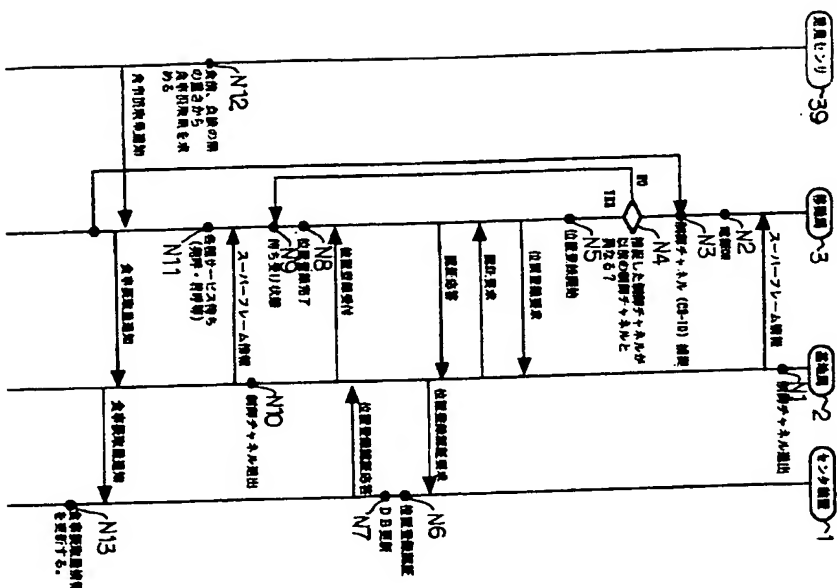
[26]



【圖 27】



【図28】



フロントページの続き

- | | |
|--|--|
| (72) 発明者 三浦 敏明 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内 | (72) 発明者 大泉 豊 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内 |
| (72) 発明者 藤原 竜明 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内 | (72) 発明者 中尾 量 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内 |
| (72) 発明者 永田 公 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内 | (72) 発明者 上野 喜昭 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内 |

- (72) 発明者 大石 智子
大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
- Fターム(参考) SK03 BA08 DA01 DA05 DA19
SK087 AA25 BB04 BB27 CC12 EE02
EE16 EE23 EE32 FF03 FF13
FF18 HH22 HH23 JJ66 KK16

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)